

議事録

件名	第33回 セーフコミュニティ高齢者の安全対策委員会	
日時	令和7年6月26日（木） 10：30～12：00	
場所	久留米市役所 306 会議室	
出席者	委 員	濱本委員長、内田委員、漆原委員、桑島委員、羽江委員、立石委員、時安委員、権藤委員、下津浦委員、西村委員、洪田委員、古賀委員
	事務局	（長寿支援課）植松補佐、鹿毛補佐、中尾補佐、稲益主査、城戸主査、岡本、野田 （安全安心推進課）山下主幹、新村補佐
欠席者	山下委員、稲田委員	
傍聴者	なし	
次 第	1. 開会 2. 協議事項 （1）2024(令和6)年度実績及び2025(令和7)年度取組方針(案)について （2）セーフコミュニティの次期国際認証について （3）みんなでセーフコミュニティ賞について （4）Instagramを活用した情報発信について 3. その他 （1）令和7年度セーフコミュニティ会議等スケジュール(案) （2）SC 標語募集について 4. 閉会	
議 事		
質 疑	1. 開会 ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」 2. 協議事項 <u>（1）2024(令和6)年度取組実績及び2025(令和7)年度取組方針(案)について</u>	
委 員 長	資料1〔高齢者の安全対策〕4-②【転倒・溺死溺水の予防】転倒予防のための健康づくりの「体力維持、介護予防」の活動指標について確認。「にこにこステップ＆スロージョギング教室」の回数と延べ人数が2024年度に減少したという話だった。 これについては参加者が自主活動へ移行したため減ったということだが、自主活動へ参加された方のデータや数などは把握されているか。	
事 務 局	現在は、教室型よりも地域の団体で自ら活動している団体が増えている。 令和3年に15団体1,545人の活動者だったものが、令和6年度末、70団体まで増加し、2,463名の方が週1回にこにこステップに取り組んでいるので、教室参加者を開拓するよりも、そういった方々の活動を推進している状況になっている。	
委 員 長	この減少した部分が、実は自主グループに移行していて、自主グループがこれだけ活動しているというのはとても素晴らしいことなので、ここは今後また国際認証の際に、具体的に説明できればと思う。 <u>（2）転倒予防に関する啓発物について</u>	
委 員 長	表のデータは、転倒予防のデータを書き換える方向か。	

事務局		はい。
委員	①	実際介護をしている現場の通所など、ヘルパー関係からすると、最近は確かに自宅での転倒は結構多いが、自宅周りも結構転倒する。 通所で迎えに行く時には、今まで普通に歩いていて、昼間、晴れている日に歩いて新聞を取りに行く縁石や埋まっている段とかが雨で濡れて、それで転んだと聞くことも結構あるので、自宅内だけではなく、家周りについての注意も触れられると良いかと思う。
委員長		家の周りで転倒されると、怪我の状況も結構大きくなってしまいますので、注意喚起は必要。
委員	①	歩いていると、自転車との衝突などの危険が出てきたりもする。あと、連絡が取れない、家の中まで入れないといった場合も結構あって、迎えに行くと家の玄関の門の外あたりに倒れているなどといったこともあるので、全面的に入れる必要はないかもしれないが、触れておいた方がいいかなという気がする。
委員長		家の周りにも触れるというところでどうか。
委員	②	この辺の統計関係はおそらく消防の数値を使っているのかと思うが、データ的に家の外、すぐ外の道路とかの転倒のデータはなかなか出しにくい。 「こういうのもあります」程度の触れ方だったらできると思うが、統計的に根拠を出すのは難しいところがある。
委員	①	「自宅」という表現も、それは家の中だけを指すのか、その敷地まで入れているのかでも、多分変わるのかなと。 外で転んで、その後、家の中に戻っていることも結構あって、そうすると転んだのは家の中か、庭のどちらか、ということはある気がする。 危険ということで考えれば、少しだけ触れるのも良いかと思う。
委員	②	可能性があるという意見としてはよいかなと。ただ、数字的には根拠を出しづらいので、申し訳ない。
委員長		数値としては難しいかもしれない。数値では出せないけれども注意喚起を行うということでは。
委員	①	例えば中面を開けたところに、家の中だけではなく、勝手口から出たところあたりのイラストがあるとか。
委員長		事例を挙げてもらうのが良いか。雨のときに道路で滑って骨折とかも起きているので、自宅だけではなく事例をいくつか挙げるというかたちで。 一応、事例を挙げるという方向になりそうだが、事務局の方はどうか。
事務局		今、作られているものも、結構練られてよいものになっているので、継続して載せていければと思う。外周りは認識していなかったので、取り入れていきたいと思う。 あとは、薬等の影響での転倒もあるのではと感じているところである。
委員	③	ひと月に3回転んだ経験から言うと、“自分の足が上がってない” のが一番の原因だった。1回目と2回目はけがをしたところが全く同じところであった。昨日治療しに行ったのに、また転んでしまった。転倒した場所は道路である。 3回目は自宅で慌てたときで、また同じところだった。2週間ぐらいのうちに2回で、結局1か月に3回転んだという経験からして、全く同じところをけがしたのは歩き方の問題というのが

		はっきり分かるので、「足を上げて歩こう」といった呼びかけや、住環境の改善の呼びかけは本来にありがたいことである。 足を上げて歩くということは、若い頃から言われていたが、転んでみて初めて自分の歩き方に問題あったと思った。今は、歩くときは足を上げて歩くと意識しているすが、長年の歩き方の癖は、よほど意識しないと変わらない。小さいときや若い時から意識する必要があるなということ、今になって思っている。
委 員 長		年齢を重ねていくと、どうしても自分が思った以上に足が上がってないということで、そこにも注意喚起が必要ということである。 自分が思った以上に足が上がっていないので、特に外を歩くときや雨が降るとき、階段を歩くときは注意しましょうという呼びかけ、さらに眠たくなる薬を服用されている場合はふらつきがあるので、重々ご注意くださいという呼びかけが必要ということである。
委 員 ④		久留米市の転倒予防のチラシを初めて見た。そこで、久留米市以外はどのようなチラシを作っているのか見てみた。大体似たものであるが、久留米市のチラシは誰でも分かりやすいように表現している。それから、絵を使って、こういうところを注意してと注意喚起している点がどこもよかったと思う。 また、「こういう靴や靴下を使えば滑らない」や、「家の階段に手すりをつけましょう」といったワンポイント的なアドバイスをどこかに入れられたらと思う。
委 員 長		転ばないための工夫である。
事 務 局		靴メーカーの紹介は難しいが、つま先が上がった靴など高齢者向けの靴の紹介や介護保険課がおこなっている手すり設置などの住宅改修の紹介はできると思う。
委 員 ④		滑らない靴のアドバイスを載せているところがあって、これはいいなと思った。
委 員 長		そういったところもまた、今後検討していただき、必要な団体の方などにもお声掛けいただいで検討したい。
事 務 局		次に、啓発物の効果的な配布先として考えられるところはどこか、ご意見をいただければと思う。 今回参加している行政関係の窓口や各校区には、前回も配布したし、今回も配布させていただくことになると思うが、もっとこういうところに配布するのはどうかといったところをご意見いただければと思う。 例えば、溺死溺水の啓発物でいえば、新たに、入浴施設への配布を検討しているが、同様に転倒予防の啓発物の配布先についてもご意見いただければと思う。
委 員 ⑤		自主団体が増えているということなので、その運動の場で配布するのは、一番効果的なのではと思う。自ら周囲にも配ってくださるのではと思う。
委 員 ①		それはすごく効果的。私は自主団体サロン系に月に 10 回程は行っているが、配布用に啓発物をよくもらいに来る。それを見ながら家族介護教室や住宅改修などの話をする。そういう会場で配るのはすごく効果がある。 地域住民の皆さんと予防フェスタを行う時に配ると、関連性があるのでとても興味を持ってもらえる。
委 員 ④		コミセンには様々な啓発物が持ち込まれるが、種類が多すぎてなかなか…。 それと回覧版の回数も 1 回に変更になり、見る機会が減った。こういうのは、ふれあい会の食事会や民生委員が月 1 回集まる会などに持っていき、簡単な説明をするなどした方がよいので

委 員 ①	は。私も初めて見たので、ただ置いておくだけでは、おそらく見られないと思う。できるだけ手渡しし、認知させるような方法をしていかないと折角作っても意味が薄いと思う。
委 員 長	例えば施設の研修会の中で職員に配ってもらう、通所の事業所に配って利用者に持たせてほしいといった際は、結構興味を持って見ていただける。 それを聞くために、また実施しに来られている人たちなのでやっぱり関心が高い。
事 務 局	関心の高い方に対して配布するとすごく効果的である。また、事業所の方にもご協力いただいて、自主団体や予防フェスタ、通所事業所を通じて利用者などの興味関心のあるところから届けていくことがよい。
委 員 長	検討させていただきたい。
委 員 長	次の「各団体でできること」という項目は今の議論で出た。
事 務 局	合わせて議論いただいたということで結構である。 <u>(3) セーフコミュニティの次期国際認証について</u> <u>(4) みんなでセーフコミュニティ賞について</u> <u>(5) インスタグラムを活用した情報発信について</u> 質疑なし <u>3. その他</u> <u>(1) 令和7年度セーフコミュニティ会議等スケジュール (案)</u> 質疑なし <u>4. 閉会</u>